

大会名 Competition	第21回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-102	Year Month Day Time 2008 年 5 月 3 日 10 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



チームA		チームB
延岡学園	( 27 1st 12 18 2nd 15 35 3rd 19 21 4th 13 OT )	新潟商
101 ○		59 ●

主審:Referee 片寄 達 宮城県  
副審:Umpire 信田 悦美 秋田県  
テーブルオフィシャル:Table officials 男鹿工業高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	内村 祥也	CAP	6	0	3	0	3	4	×	楨坂 健人	CAP	13	1	3	4	4
5	×	シダット ショウタ		27	0	11	5	1	5	×	近藤 大		11	1	4	0	3
6	×	和田 力也		22	4	2	6	1	6	×	山崎 将也		14	0	6	2	3
7	×	永吉 佑也		6	0	2	2	2	7	/	五十嵐 良心		0	0	0	0	0
8	×	川元 崇史		23	5	3	2	4	8	×	小野寺 弘晃		6	0	3	0	1
9	/	横瀬 孝樹		4	0	2	0	3	9	/	田村 亮		7	0	3	1	2
10	/	曾根田 夏樹		0	0	0	0	0	10		小林 裕太郎		-	-	-	-	0
11	/	湯地 寛文		2	0	0	2	0	11	/	中村 博		0	0	0	0	1
12	/	大坪 将太		3	0	1	1	1	12	×	新保 寛人		8	2	1	0	5
13	/	長谷場 祐二		0	0	0	0	0	13		佐藤 寛人		-	-	-	-	0
14	/	中村 友哉		0	0	0	0	1	14	/	亀山 亮		0	0	0	0	0
15	/	エリマン ブイ		8	0	4	0	2	15		萩野 晃平		-	-	-	-	0
16	/	宇治橋 真悟		0	0	0	0	0	16	/	岩淵 俊紀		0	0	0	0	1
17	/	中小路 拓		0	0	0	0	0	17		安保 睦		-	-	-	-	0
18	/	西口 直哉		0	0	0	0	0	18		村越 俊紀		-	-	-	-	0
コーチ		北郷 純一郎							コーチ		中屋 廣昭						
Aコーチ		内村 昌弘							Aコーチ		丹波 浩之						
合計				101	9	28	18	18	合計				59	4	20	7	20

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q開始早々、延岡は#5シダットのゴール下で先制。新潟は#4楨坂の3P、#6山崎、#8小野寺の2Pで反撃。しかし、ここから、延岡は#4内村の速攻、#5シダットのダンクシュートなどで連続13点を奪取し20-7とする。一方、新潟は、延岡のゾーンディフェンスを崩すことができず、得点できない。新潟は何とか得点するが、27-12で第1クォーター終了。

第2Q開始早々、新潟は#12新保の3P、スティールからの速攻などで連続9点をあげ、21-27と反撃する。ここから、延岡は、選手交代をし、#15エリマンのジャンプシュート、#7永吉の速攻で加点。さらに、#5シダットの2本のゴール下のシュート、#6和田、#8川元の3Pなどでリードを広げ、45-27で前半終了。

第3Q開始直後、延岡は#8川元、#6和田の3Pなどで連続11得点連取。その後も#5シダット、#8川元を中心に攻め立て、確実に得点を重ねる。一方、新潟は、ミスを連発し、なかなか得点できない。#4内村が連続得点するがなかなか点数が伸びず、80-46で第3クォーター終了。

第4Q、延岡は#6和田のドリブルイン、#5シダット、#15エリマンのゴール下のシュートで着実に加点。新潟は、果敢にインサイドにチャレンジするがミスが目立ちなかなか得点が伸びない。終盤#5近藤#8小野寺が得点を重ねるが、結局インサイドを制した延岡が101-59で勝利した。

文責 【 大塚 繁太郎 】